

# < 実践事例 立川市立第五小学校 >

## 1. 取組・活動名

「ゲストティーチャーから学ぼう」

## 2. 取組・活動のねらい

- 2020 年に開催されるオリンピック・パラリンピックに積極的に関わることで、生涯を通してスポーツに取り組み、健康増進を図る意識を高めるとともに、日常的に体力向上や運動に対する興味・関心を高める。
- アスリートから直接指導を受けたり、話を聞いたりすることで、夢をもつこと、あきらめないで努力することの大切さを実感させる。
- 日本の伝統・文化に興味・関心をもち、日本人としての誇りを大切にできる心情を育てる。

## 3. 教育課程上の教科名・時数

「総合的な学習の時間、特別の教科 道徳、体育」・「4時間」

## 4. 実施上の工夫

- ・ 年間指導計画に基付き、年間を通して取り組める活動は 1 学期中に、単元によって重点的に取り組む活動は学期ごとに計画的に実施した。
- ・ アスリートとの交流を深めるために、講演会だけでなく、給食などの直接的な交流を通して、選手からスポーツに対する考え方を聞き、興味・関心を高めた。
- ・ 身近に存在するアスリートを招致することで、夢や努力の大切さを自分事として考えられるようにした。

## 5. 本取組・活動の内容



・ ビーチバレーボール選手による実技指導を実施した。普段の練習で取り入れている準備運動やボールの扱い方を教わった。



・ 給食交流では、スポーツに取り組む姿勢や食の大切さを教わった。



・ 立川市のラジオ体操協会の指導者を招き、全学年でラジオ体操の正しい動きを教わり、その後、体育の授業や運動会の準備運動で取り組んでいる。  
・ 児童がラジオ体操の正しい動きを身に付けることで体育の授業での準備運動の質が向上し、運動会では演技としての要素が高まった。



・ 本校卒業生の落語家を招き、5年生を対象に落語教室を実施した。  
・ 衣装や小道具などの説明と落語を 2 席行った。  
・ 児童の落語体験を実施し、興味・関心を高めた。

## 6. 成果

- ・ ゲストティーチャーを招致することで、子どもたちの興味・関心は高まり、夢をもつことや努力の大切さを実感させることができた。また、直接指導を受ける、児童自らが体験するという活動を取り入れることで、意欲的な取り組みにつながった。
- ・ いろいろなスポーツへの関心をもつようになり、2020年のオリンピック・パラリンピック出場を目指す選手を応援したいという気持ちをもつようになった。活動後すぐに、SNS を通して選手を応援する児童もいた。